

佐佳枝ポンプ場整備における アドバイザー業務



平成21年6月9日(火)

株式会社 長大
社会計画事業本部 パブリックマネジメント推進部
岡崎賢司

対象事例の概要

下水道のポンプ場更新工事を設計・施工一括発注方式で実施する際の発注者側（公共側）のアドバイザー業務

- 対象工事は合流式の下水道ポンプ場の更新
- 工事を担う企業の募集・選定に係る手続きを支援
- 土木・建築・機械・電気の4工種に係る設計・施工一括発注方式の採用
- 総価契約単価合意方式の採用

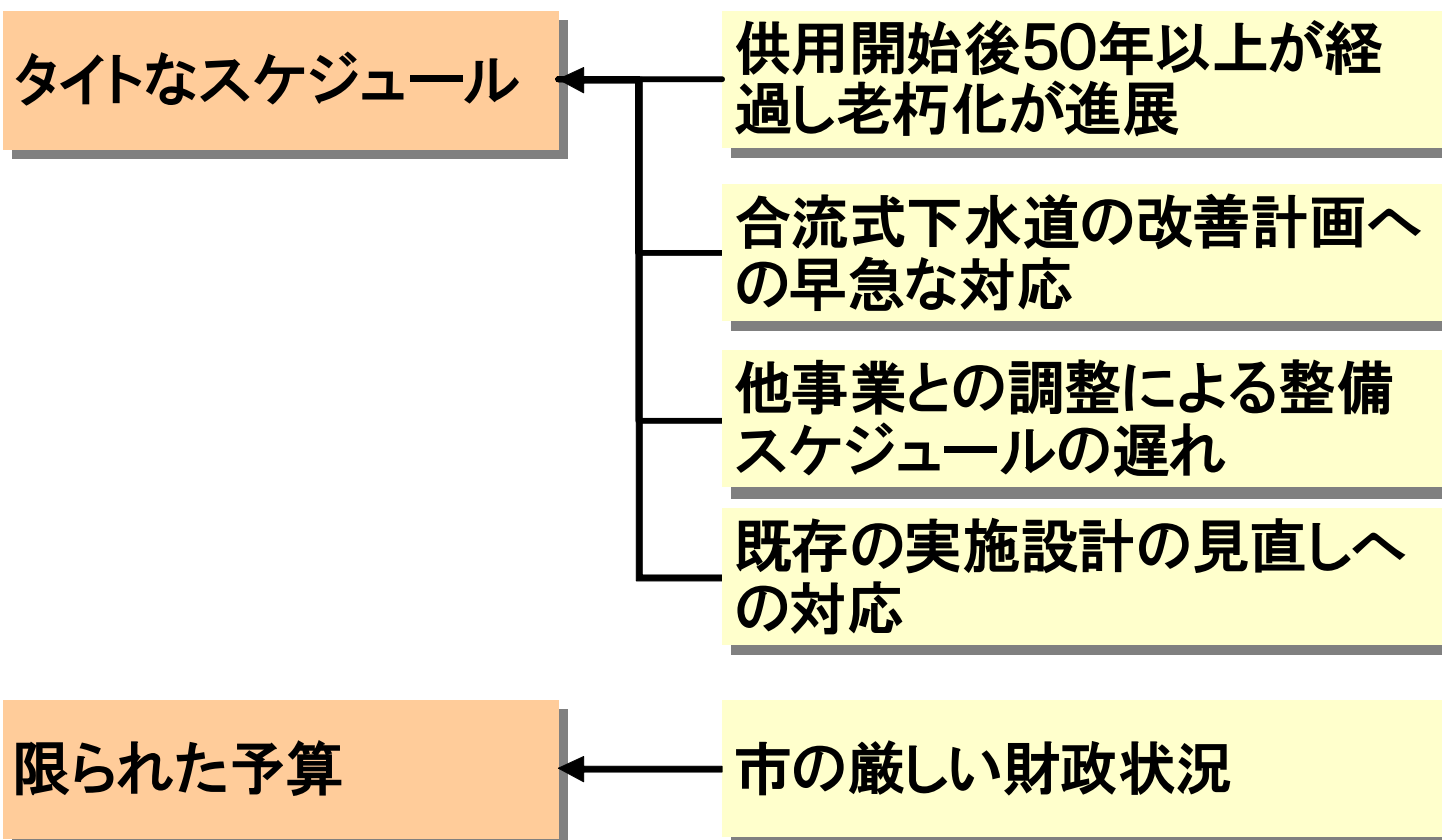
対象工事の概要

従来の発注・契約方式では、設計と施工の分離発注と、4工種の分割・単年度発注が基本

排除方式	下水道の合流式ポンプ場	
計画水量	計画汚水量	0.11m ³ /sec
	計画最大汚水量	0.77m ³ /sec
	計画最大雨水量	11.194m ³ /sec
工事等の範囲	設計業務	実施設計とその関連業務
	更新工事	土木工事
		建築工事
		機械器具設置工事
		電気工事

新たな公共調達手法が求められた背景

スケジュールと予算の観点から、従来の発注・契約方式では、品質を確保した更新工事の実現が困難



新たな公共調達手法による対応

4つの要素を組み合わせた調達手法を採用

民間の創意工夫と競争原理を最大限に活用し、限られたスケジュールと予算内での更新工事の完了を目指す

- ① 土木・建築・機械・電気の4工種に係る設計と更新工事の一括発注
- ② 性能規定発注方式の採用
- ③ 総合評価一般競争入札方式の採用
- ④ PFI事業に準じた公平性・透明性を確保した入札プロセスの採用(実施方針の公表、要求水準書の公表等)

新たな公共調達の実現に向けた工夫

限られたスケジュール内での4工種の更新工事の確実な実現のため、3つの工夫を盛り込む

限られたスケジュールで4工種の更新工事を同時進行

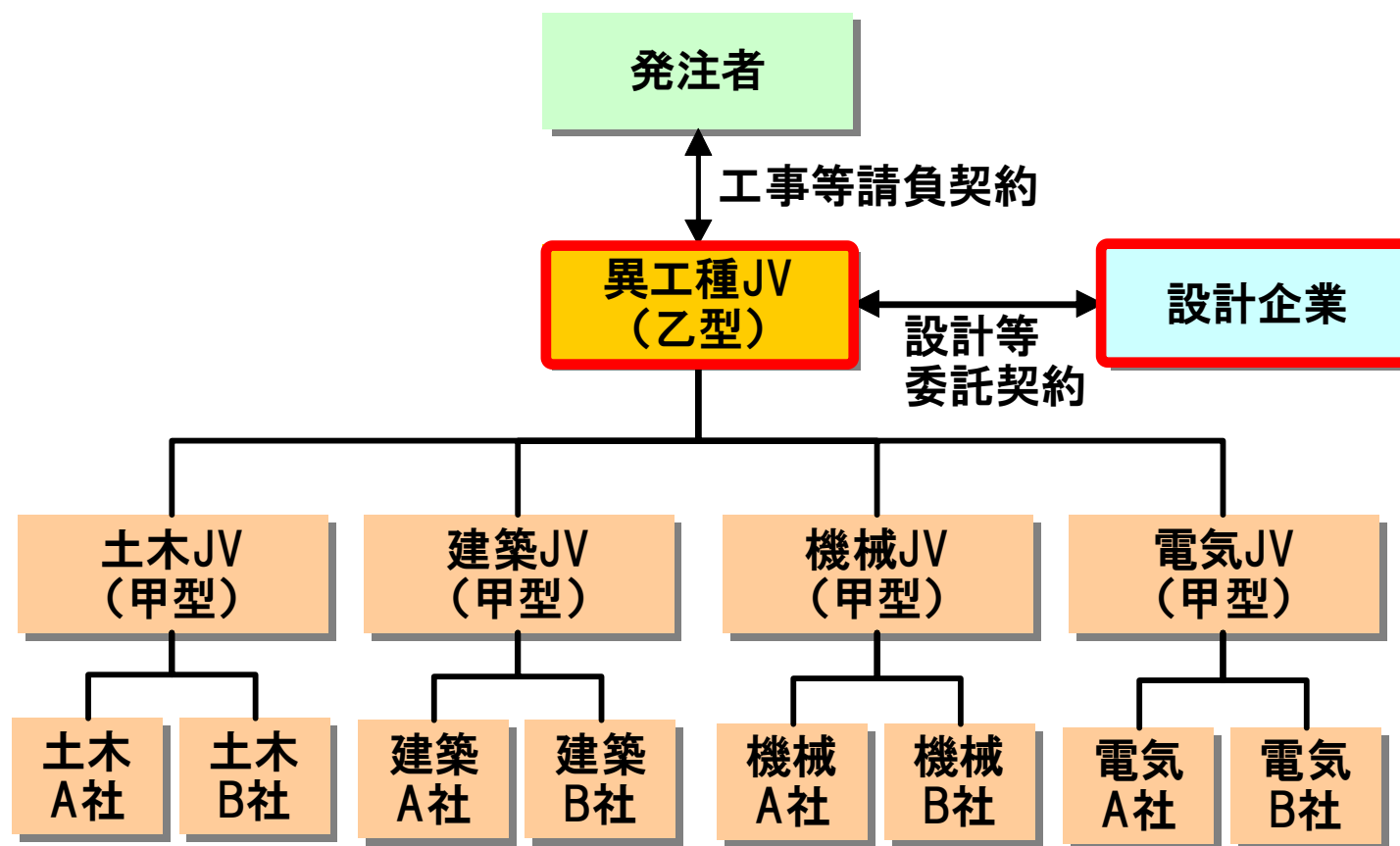
① 甲型JVと乙型JVの組み合わせによる役割責任分担の明確化

② 工事全体のマネジメントの実施を規定

③ 総価契約単価合意方式による片務性のない円滑な設計変更の仕組みを規定

甲型JVと乙型JVの組み合わせ

甲型と乙型を組合せ4工種8社の役割・責任分担を明確化
設計のとりまとめを担う設計企業の配置を義務づけ



工事全体のマネジメントの実現を規定

工事全体のマネジメントの実施を「要求水準書」に規定し、その実現可能性を評価

要求水準(一例)

工事全体の品質、スケジュール及びコストを適切にマネジメントすること

発注者とのコミュニケーションを密に行い、工事を円滑に推進すること

想定されるリスクを適宜把握し、適切に対応すること

提案の様式集(一例)

品質、スケジュール及びコストに係る自己モニタリングの方法

発注者とのコミュニケーションの方法
(会議体の種類、開催時期と頻度、議題、出席者等)

重要なリスクとして識別しているもの、識別した根拠、当該リスクの管理・対応方法

実現方法の提案を求め、
その実現可能性を評価

総価契約単価合意方式の採用

発注者とJVが総価の契約金額の内訳として、工種等の単価を合意し、片務性のない円滑な設計変更の仕組みを構築

工種等	数量	JV単価	発注者単価	合意単価
仮設鋼矢板	200枚	9,000円	12,000円	9,000円
連続地中壁	5,000m ²	50,000円	48,000円	50,000円
...	...	...	...	...

※数量の変更が生じた場合は、JVと発注者がお互い合意した単価に基づき設計変更を実施(手続きの円滑化、片務性のない手続き)

新たな公共調達手法と3つの工夫による効果

当初目的の達成が見込める民間提案を受け付けることができ、かつ、確実に達成される見込み

民間の創意工夫と競争原理を最大活用する新たな調達手法



■当初目的の達成が見込める民間提案

- ・ 目的年次内での供用開始
- ・ 約10%の工事費の削減

実現に向けた3つの工夫



■提案の確実な実行

- ・ 工事全体のマネジメント
- ・ 工事条件変更時の円滑な対応

解決すべき課題

- 民間の創意工夫を引き出す性能規定
 - 各種指針等との整合
- 応札企業との意志疎通の必要性
 - 発注者が期待する事項と要求水準の明確化
- モニタリング機能の充実
 - 発注者が確実、かつ、容易に確認できる仕組みづくり